

くめじま

議会だより

がんばれ～ 楽天!!

2023.3.1

No. 83

久米島町議会



12月定例会

- 12月定例会・臨時会で決まったこと P2～3
- 町政を問う 一般質問 …… P4～15
- 委員会レポート …… P16～17
- 議会その後の対応 …… P18～19
- 議会のうごき・編集後記 …… P20

久米島町の人口・世帯数
(2022年12月末現在)

男	3,962人	女	3,451人
計	7,413人	世帯	3,951世帯



定例会・臨時会

- 久米島町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、久米島町職員の定年等に関する条例の一部を改正する必要がある。
- 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の一部を改正する必要がある。

一般審議



- 南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務及び規約の変更について
南部広域市町村圏事務組合の共同処理する事務に、豊見城市、糸満市、南城市、南風原町、与那原町、八重瀬町、及び久米島町に係る子ども・子育て支援法及び児童福祉法に規定する特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の指導監査に関する事務を加え、同組合の規約を変更することについて協議するため、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を必要とする。
- 大岳放課後児童クラブ施設の指定管理者の指定について
大岳放課後児童クラブ施設の指定管理者を指定するため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、次の者を指定管理者に指定することについて、議会の議決を求める。

施設の名称	大岳放課後児童クラブ施設 (久米島町字山里177番地)
団体の名称	一般社団法人 ゆいのわ 代表者 与座 規子
指定の期間	令和5年4月1日から 令和8年3月31日まで



大岳放課後児童クラブ施設（旧大岳幼稚園舎）

定例会・臨時会で決まったこと

12月定例会

令和4年12月（第10回）定例会は、12月12日から15日の4日間の日程で行われ、議案9件、陳情1件、意見書1件を審議した。12人が登壇し一般質問が行われた。

令和4年度補正予算



- 一般会計補正予算（第7号）
96億408万円（1億3,966万円増）
- 一般会計補正予算（第8号）
96億2,613万円（2,204万円増）

条例の改正



- 久米島町議会議員及び久米島町長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例
公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、久米島町議会議員及び久米島町長の選挙における選挙運動に関し、選挙運動用自動車の使用等の公営に要する経費に係る限度額の見直しを行うため、久米島町議会議員及び久米島町長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する必要がある。
- 久米島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
人事院による育児休業法改正の意見の申出及び育児休業法改正を受け、久米島町職員の育児休業等に関する条例を改正する必要がある。
- 久米島町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
人事院及び沖縄県人事委員会の給与勧告、国及び沖縄県の職員の給与の状況等を考慮し、久米島町の職員給与等を改める必要がある。

第9回臨時会

会期：令和4年11月21日

令和4年度補正予算



- 一般会計補正予算（第6号）
95億9,352万円（1億2,909万円増）

請負契約



- 清水小学校校舎耐震補強工事請負契約について
契約の方法 指名競争入札
契約の金額 114,180,000円
契約の相手 株式会社 儀間建設



耐震補強工事予定の清水小学校舎

陳情



- インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書

議員提出



- インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める意見書
提出先：内閣総理大臣・財務大臣

第8回臨時会

会期：令和4年10月31日

令和4年度補正予算



- 一般会計補正予算（第5号）
94億6,442万円（2億4,279万円増）

一般審議討論 (抜粋)

賛成 反対
討論

反対討論

【赤嶺 秀徳 議員】

執行部から開設が大幅に遅れていることや、先生との関係等について急ぐ必要があるとの説明を受けましたが、この仲里歯科診療所が閉院して何年もたっているのに、今さらという気がしてなりません。将来のことを考慮した場合、さらに事細かく議論を重ねる必要があると思われることから、本件について反対する。

【真栄平 建正 議員】

新築した場合は60年の耐用年数が確保されるが、改修した場合にはあと何年もつのか、今の説明や資料では納得できるものではない。もっと議論すべきではないかという事で、本件について反対する。

賛成討論

討論者なし

議長は採決に加わらない

賛否が分かれた議案審議結果

賛成は○ 反対は×

氏名	喜久村 等	盛本 實	富永 肇	赤嶺 秀徳	宇江原 総清	新垣 幸子	棚原 哲也	喜久里 猛	真栄平 建正	東江 浩明	翁長 学	幸地 猛
件名												
一般会計補正（第6号） 仲里歯科診療所改修事業	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	—	○



幸地 猛 議員

問 人口減少対策は

答 第2次総合計画に掲げる施策を推進



問 人口減少を解決するための施策を総合的・多角的に連帯することとしているが、その具体的な取り組みは。

答 久米島町の取り組みとしては、第2次総合計画に掲げる施策を推進し、後期基本計画で掲げた目標値に近づけるよう取り組んでいるところである。

問 久米島町は合併してから毎年約100人ずつ人口減少すると推測されている。何もしなければ2060年には4000人程度まで減少すると推測されている。佐渡市での視察研修において、佐渡市は平成16年に合併。合併当時7万人の人口が合併後毎年1000人ずつ人口減少しており、人口減少を短期的な取り組みで食い止めるのは不可能だという。人口減少を抑制するためには、若年層の流出抑制やU・ターンの促進による移住拡大が大きなポイントだというが。

答 人口減少問題は、出産から

仕事、教育、老後までの人生の中でそれぞれが島を出るといった問題がある。人口減少問題を解決するためには、若者が久米島に帰ってきて、仕事の場づくりとか、若者をターゲットにした施策づくりとか、若い女性がワークライフできる居場所づくりの施策を展開しなければいけないと思っている。

問 風の帰る森プロジェクトは

答 指定管理者を公募する

問 「里山をつくる、人を育む、異文化を交流する」をコンセプトに、民間事業者が自ら予算を確保し事業を展開することとしているが現在の目的では課題等が多いため、方向性が見直しが必要であるとしている。新年度に向けて町の方針は。

答 平成29年度に策定された風

の帰る森プロジェクト基本計画では、子供の未来を育み次の世代へきちんとバトンを渡すため、「里山をつくる、人を育む、異文化を交流する」をコンセプトに事業を推進してきた。現在の利用状況は福祉事業の学童保育が主事業となり、寄付者が思い描く町内の子供たちの交流や保養ができない状況となっている。新年度に向けては、子供たちの交流を主事業とした指定管理者について公募をおこなっていく。

問 学校規模・配置適正化基本方針の策定は

答 設置要綱等の作成や素案の資料作成を進めている

問 学校規模・配置適正化検討委員会の設置は。

答 久米島町学校規模・適正化基本方針の策定に向け、現在、

設置要綱等の作成や素案の資料作成を進めている。学校は子供たちの教育のための施設として設置されている。地域を支えていく人材の育成の拠点ともなるが、第一に考えるのは、子供たちの教育が将来どういう方向にいくのかを考えて統廃合について話し合いをしないといけないと思っている。町民アンケート等を含めて地域や、現在通っている子供たちの保護者、就学前の子供たちの保護者の意見を聞きながら、また区長会の協力も得ながら、町民でこの学校をどうするかということを念頭に置いて委員会を立ち上げたい。



後期基本計画・第2次総合戦略



翁長 学 議員



問 畜産振興は

答 増員に向け準備



問 本町の、獣医師は開業医、共済医がいる。特に共済獣医師が多忙であり改良組合からも、獣医師の増員の要請をしているが、進展があつたか。

答 本年9月20日沖縄県農業共済組合へ増員について要請を行つており、次年度から派遣できるか検討するとの回答があり、増員に向けて調整している。

問 現在、共済獣医師が多忙で緊急的な牛の疾病には対応しているが、妊娠鑑定、繁殖障害の牛は待たされることがある。複数の獣医師がいれば農家サービスに対応できるのである。

答 農業共済から回答を待つていて、町として次年度に向けて、予算要求や車両等、増員の準備を進めていて、共済代表理事も本町の状況を認識しており、次年度一人増員をしたいとの前向きな回答であつた。

一般質問——町政のこころを問う

問 路線バス運営は 答 しっかり取り組む

問 町民から路線バスが運行していなかったと苦情があり、また、子ども議会からも質問がある。今後の路線バス運営の方向性は。

答 公休日だったということ、ヘルプに入ってもらつた人がうっかり忘れていたという状況である。

問 うっかりミスで済まされないうちも、ミスがなくしていただきたい。路線バスは何名体制で行つていくか。

答 4人おり、それに合わせてヘルプの運転手2名。

問 今の勤務体制が運転手の負担になつていないか。

答 4人体制で厳しいかなと認識し、現状を解消したいということ、現在調整している。

問 子ども議会でも3名の議員が、路線バスの質問があり、今後の町民の足となるよう、しっかりと路線バス運営を進

めては。

答 子ども議会からもベンチを作つてほしい、夕方の下校の時、本数を増やしてほしいと質問があり、観光客、町民生徒の皆さんが上手く活用、利用できるようにしっかりと検討しながら皆さんに伝えられるように取り組んで行く。



町民の生活路線となっている町営バス



QRコードを読み取ると、一般質問の内容が全て聴くことができます！

(※音声配信は1年間です。)



一般質問の音声をYouTube(外部サイト)により配信しています。各議員のQRコードを読み取り、ぜひお聴きください。



盛本 實 議員

問 町制 20 周年の節目に町民へ強力なメッセージを

答 節目を契機に事を起こすことは重要



問 町制 20 周年を迎える節目に当たり、今後の 20 周年を見据えて町民に対して強力なメッセージを発信する必要があると思う。例えば例として「久米島観光元年」と位置づけては。

答 強力なメッセージの発信、節目を契機に事を起こすことは重要である。コロナ禍からの回復に向けてもいいタイミングである。提案通り取り組んで行く。

問 本町の観光資源のインフラ整備は

答 関係課及び財政状況を勘案し検討

問 本町の観光地は、まだ未整備箇所が多くある。例えばイーブイチ砂州の回復、置石のバリアフリー化、鳥の口駐車場の整備、熱帯魚の家駐車場、イーフ地区駐車場整備、阿嘉のひげ水の復活等々、その他の観光資源のインフラ対

策は。

答 観光資源のインフラ整備は、島の見どころとして、これまで様々な事業で整備してきた箇所や新たに観光地となった箇所等で現在に至っている。当初整備された箇所も経年による不具合や新たな課題等について要望や要請もあるが、対応できていない状況にある。引き続き関係課と連携を図り財政状況を勘案し対応する。



奥武島護岸のバリアフリー化(置石全面側)

問 本町内の基幹的な道路の整備は

答 町へ苦情・要望等があれば県へ伝える

問 本町内に存する県道について、歩道の未整備や路面のクランクや凹凸が多く見られ、町民及び観光客等に不便さを与えている。その対策は。

答 県道の未整備箇所は、用地取得が難航し未整備となっている。路面等の修繕も県は把握に努めており予算の範囲内で対応している。また、町への苦情・要望があれば県へ伝えていく。歩道整備や道路補修については、早期に改善するよう県へ要請する。

問 その他、道路の中央線、外側線、停止線、横断歩道線の多くが薄く消えかかっている。その対策は。

答 道路管理者である、県へ補修要請をする。



議会終了後に改善された道路(清水幼稚園前)

問 本町におけるSDGsの取り組みは

答 総合計画後期基本計画の中で取り組む

問 本町におけるSDGsの取り組みは、総合計画後期基本計画にSDGsで掲げる17の目標について掲げている。ほかにも町広報誌でその内容に関するSDGsのアイコンを表示することで、町民にSDGsを身近に感じてもらうことなどに取り組んでいる。



真栄平 建正 議員



問 コロナ対策交付金終了後も支援策を

答 財源を確保し必要施策を実施



一般質問——町政のいまを問う

問 久米島独自の事業所もある取りこぼしが無いよう十分把握を。渡船事業者への支援は。
答 3事業所に支援金を交付した。

問 給食費無償化は子育て支援の柱の一つ、そして子育て支援は人口減少対策の重要施策、単独事業でも実施すべきでは。
答 一部または、全額無償給付が可能か検討する。

問 産業振興を
答 諸施策に取り組む

問 北大東村で土壌改良により反収増の成果を上げている。また、堆肥センターの専門家への委託管理を2年前から提案してきたが実施されていないが今後は。
答 再確認して早急に取り組む。

問 化学肥料低減策は町が効果的な事業を政策的に推進すべきでは。

答 堆肥の利用と緑肥を推進したい。

問 ①ハーベスター料金の各地域のトン当たり単価は、②単価差の理由は、③単価差解消策は。
答 ①本島南部5,000円から6,000円、中部坪当たり110円、北部5,000円、宮古4,900円、南大東2,750円、北大東3,330円。②全県統一されてなく、本町はサトウキビ振興協議会、久米島開発組合、生産法人で協議し決定している。③農地の集約化を行うことで解消を図りたい。

問 サトウキビは久米島の基幹産業の一つ、サトウキビ価格は国で決められ、農家所得向上は経費節減が必須である。製糖工場の存続、町経済にも大きく影響する。今までの農地集約化の結果が単価6,000円。現状ではその単価は続くが、町長は単価を改める必要があるとの認識はあるか。

答 ハーベスター組合、農家、サトウキビ振興協議会を含めて検討していく。



基幹作物のサトウキビ

問 マンドウ原の事業実施の課題は。
答 工事費額、用地取得が課題である。

問 宇江城城址線総事業費6億円、起債額2億2千万円。マンドウ原は3千万円の工事費、2年間の起債事業で可能では。マンドウ原の整備は長期にわたり、議会、地元から整備要請がある。区長、地元、耕作者の協力の申し出もあり。農道、生活道路でもあり、前向きに検討すべきでは。
答 地元との協力、2年間で可能との提案もある。再度検討する。

問 真泊1号線は1級幹線道路、クルマエビ養殖場、漁協、深層水関連施設を結ぶ重要路線である。危険な状態にあり、優先的に整備を。
答 補修で対応しているが、県営で新規採択に努める。

問 県道整備は継続事業も進捗が悪い。防衛省と建設省との覚書によると防衛省予算で町が整備可能と考えるが見解を。
答 可能性はあると考えられる。採択に向けて防衛施設局と調整を進めていく。

問 バスの利便性向上
答 を
問 検討する

問 バス停の増、屋根付バス停の増、バスの小型化を。
答 高齢者、観光客の利用者増もあり、検討する。

その他 ワンストップ窓口の設置を



棚原 哲也 議員

問 津波一時避難施設の確保を

答 民間施設の活用と非難タワーの建設検討



問 沖縄本島北西海域を震源とする地震が多発している。避難所まで距離がある字イーフ、奥武島に高所津波避難タワーの建設が必要である。取り組み方針は。

答 イーフ地区は民間施設を一時避難場所として活用、奥武島は津波避難タワーの建設ができないか検討する。

問 以前イーフは2ヶ所のホテルと協定を結んで、一時避難場所として指定していた。ホテルへ確認したら協定は破棄され、解除されている。それを確認したい。

答 協定は継続という認識を持っており、再度確認して対応を協議したい。

問 イーフ地区のホテルとか高層の物件は耐震構造ではない。公の避難タワーは設置しなければいけないと思っている。担当課としてどう考えるか。

答 イーフ地区については、いま想定されている山手側に抜けるにしても、かなりの距離

があり、そこを踏まえ避難タワーの建設が必要ということならば、奥武島も当然イーフ地区も議論の対象になっていくかなと思っています。



那覇市の避難ビル

問 イーフビーチ南側の海岸にあるトイレの活用は会社に問合せを進めたい

問 海岸に建設されているタワー及びトイレがいつ建設されたか確認できているか。

答 何年建設という詳細の把握

はしていない。

問 トイレを造った経緯、いつ頃の施設か。

答 造った経緯、年度等は、把握していない。

問 現状はトイレが使えない状況にある。所有者と相談し、改善する考えはないか。

答 所有者に確認をとりたい。



イーフビーチ海岸のトイレ

問 保安林は合併前の旧仲里村で解除した。行政の継続性からして、現執行部で改善するべきでは。

答 保安林解除当時の旧仲里村も一緒にやっていると思うが施設を改修し、できる方向で進めていきたい。



新垣 幸子 議員



問 松くい虫被害の対策は

答 枯死木の伐倒と薬剤樹幹注入で 予防



問 希少野生動植物との兼ね合いでの対策の課題は。

答 被害箇所にはラムサール条約登録湿地やキクザトサワヘビの生息保護区があり、防除方法は慎重に検討する。

問 一番の対策は、守りたい松、残すべき松の薬剤樹幹注入と枯れた松を伐倒し、償却、燻蒸、破砕すること。個人所有の松は対応策のチラシを早めに各家庭に配布しては。

答 個人が何件か集まれば、まとめて業者さんが対応する等の調整を行っている。

問 県からの約5百万円の補助金があるがたい。また、県議会議員とともに現場視察を行った。特に、字仲地にて北部森林組合の6名の職員による伐倒作業を見学した。北部森林組合と同様に町内で防除対策等に従事する人材の確保や技術向上についての見解を。

答 技術面、安全面での講習会等の機会を設けていく。

問 森林のメンテナンスは、計画的に取り組むべきでは。

答 環境保全課と森林組合の発足等についても話し合いや県と意見交換を行っている。他市町村での設置状況や運営状況も参考にしながら組織づくりを検討したい。今後、森の活用というのはすごく重要。



字仲地の伐倒作業(森林組合)

問 ウミガメの個体数とアマモ等の調査

答 は
久米島漁協で個体数調査を実施

問 第2回対策協議会の開催は。

答 ウミガメの個体数調査等を行い、具体的な対策案ができる段階で実施する。

問 専門家のどのような助言があったか。

答 各藻場における個体数を把握できれば具体的な対策が検討できる。

問 仮に調査して個体数が分かった場合、具体的にどのような対策が取れるか。

答 ウミガメを食用として減らす可能性やアマモ等の海藻類の防護対策を漁協と調整し専門家の意見も聞いた上で実施できる。

問 ウミガメ館の目的は、保護や観光、児童生徒の教育的観点から重要。職員の方々の日々の御努力に敬意を表したい。ウミガメの保護と漁業の共存について町長の見解は。

答 年間を通してウミガメの個体数を調査することや専門家と一緒に解決していきたい。

問 年間草刈り作業の体制は

答 地域医療振興協会と協議する

問 公立久米島病院の敷地内の管理について、ボランティア団体と委託業者を組み合わせる年間を通して草刈り作業ができる体制を。

答 地域医療振興協会と協議していく。

問 公立久米島病院や離島医療組合との連携は。

答 沖縄県、町、地域医療振興協会、沖縄地域医療支援センター、公立久米島病院の5者で構成される「公立久米島病院管理運営協議会」を年4回開催して情報交換、課題の共有を常に図っている。

その他 「生理の貧困について」



宇江原 総清 議員



問 米公文書を否定か

答 現時点確認していない

問 琉球孤島へのミサイル配備は、沖縄が再び戦争の捨て石になる。鳥島射撃場の劣化ウラン弾等の実射訓練は激しくなる。(1)ジョン・ミッチェルの放射性物質汚染の米公文書を否定するのか。(2)国防は国家専権事項としている。市民の命と健康を守る手段は。(3)劣化ウラン弾による人体被害はないとする根拠は。

答 (1)について、現時点確認していない。(2)(3)は人体に影響を与える結果は出てない。

問 米公文書を否定できるはずはない。沖縄本島でもピーフォア等や枯葉剤の発ガン物質がまかれた。本県は日本一の長寿県から転落。本町もガン者数35位からワースト10位に転落。異常だ。射撃場は久米島の北側にある。北側の区域のガン死亡者を疫学調査をすれば実態が判明する。実施しないのは町民の人命軽視だ。

答 専門家に分析、因果関係があれば町民に伝えたい。

問 バーデーハウスの閉館と提案書
答 提案書は他社からもあった

問 (1)について、武士の商法だ。施設劣化の原因は塩害だ。その原因である階段式護岸撤去を、私が県に約束させたが町は実行しなかった。
答 (3)の提案書内容。

①久米島町と〇〇で賃貸契約(期間30年)を締結し賃借料、9千万円を一括前払いにて払う。②久米島町は、株式会社オーランドの債務9千万円を保証履行した上で、株式会社オーランドに対して債権放棄する。③〇〇と株式会社オーランド間で業務委託契約(省略)を締結。④2020年3月末付で株式会社オーランドを清算し、残余財産を株主に分配する。

町長は前記内容の同書の有無を認めた。
(1)閉館となった経緯と指定管

理の経過は。(2)令和元年5月の指定管理案に関する経過資料。(3)県外商事社に9千万円の負債を土地賃借30年間で一括払いの約束と、借用させるとした土地の面積は。

答 (1)については極度の経営不振と塩分による施設の劣化や改修に多額の予算を要した。(2)については県外企業より提案。(3)については提案であり約束ではない。

問 真泊の避難道路延長は

答 土砂災害警戒区域指定

問 (1)本件避難道工事に7千4百万円を公示したが、3千万円の工事施工で途中で打ち切った。理由は

(2)真泊の人たちは大きい津波が来た場合、どう逃げるか。

答 (1)について、土砂災害警戒区域等に指定されたことから、その後整備していない。

(2)について、県道から赤平ルート避難ルートが望ましい。

問 赤平ルートで避難させるのは危機管理能力のない事。前町長は中腹で病人が出た場合、潮が引いてから救出と答弁した。道路上の瓦礫撤去をするのに何日もかかる。避難道路計画に対し、県は他に逃げ場がないという事で許可した。正当防衛同様に例え、特別警戒区域でも、本件道路で人命が救われるのであれば、延長道路を造るべきだ。宇根ルートでは多くの犠牲者を出す事に。

総務課長 非常に難しいところではあるが、現段階では赤平頂上付近を選択せざるを得ない。

消防長 消防、防災の面から、海岸線に沿って非難することは現実的ではない。津波に対しては、1分1秒でも早く高台に避難することが優先される。現状の避難ルートも残しつつ、代替案についても関係機関と協議したい。



東江 浩明 議員



問 児童生徒在籍減少に伴う小学校統廃合は

答 学校規模適正化計画を策定



一般質問 — 町政のこころを問う

問 4年度、幼稚園・小学校・中学校在籍数の資料表から、比屋定小学校の全体生徒数が11名、1年生5名、3年生2名、5年生1名、6年生3名となっている。クラス対応は複式学級か。

答 比屋定小学校、1年生と3年生のクラスが複式学級対応。

問 比屋定小学校の教職員数は。

答 校長、教頭を含め5名の教職員、非常勤が1名配置。

問 比屋定小学校在籍数が11名、美崎小学校在籍数が40名、この2校児童生徒数があまりにも少なすぎると思う。子どもが多感な時期に児童生徒の、集団生活、多様な考え方、社会性や学習力、同級生との交流という将来の影響を考えると、統廃合に進めて行くべきだと思うが教育長の考えは。

答 子どもたちは複数で多様な学び合いをする必要があると思う。学校規模適正化計画を

策定し、統廃合については、議論していく。ICTを活用して、比屋定小学校、大岳小学校、学び合いを行っている現状。小規模のメリット、デメリットも含めて考え対応していきたい。

問 統廃合に伴って様々な問題が出てくると思う。地域住民の理解と協力を得ながら、教職員、本町職員、その他専門職員等々と学校再編成検討協議会を立上げ進めてはどうか、町長の意見を伺う。

答 教育委員会の職員で、統廃合に関して自分の仕事を持ちながら作業するのは大変厳しいと思う。教員OB等、携わった皆さんを任期付き、2年、3年採用して、それに特化した仕事も進めたい、いま考えている。



耐震補強された美崎小学校舎

問 小学校閉校後の跡地利用計画は

答 玉川学園大学水耕栽培等、誘致検討を図る

問 美崎小学校周辺は海洋深層水特別開発周辺整備事業対象地区内に含まれているか。

答 沖縄県海洋深層水研究所と美崎小学校前、サトウキビ畑になっているところに関して、将来、深層水が大規模化した場合に活用予定と考えている。

問 校舎利活用について、教室でLEDを使用し葉野菜レタス類の深層水活用の水耕栽培等の検討は。

答 玉川学園大学の取組、水耕栽培から水産まで手広く手掛けているという事で学校に限らず空き公共施設があれば、誘致を図っていくのも1つの方法と考えている。



LED活用による水耕食物栽培

問 堆肥センターの業務委託は

答 次年度4月より令和8年3月、4年契約

問 業務委託業者企業名と所在地は。

答 株式会社エムエスケイ、静岡県浜松市本社、従業員50名、産廃業務も取扱いあり。



富永 肇 議員

問 離島留学制度及び、じんぶん館は

答 将来的な投資、人材育成の投資



問 離島留学制度は約10年を迎える。これまでの評価、効果は行ったか。また、じんぶん館の施設状況は。

答 評価、効果の検証は行ってはいないが久米島高校魅力化と発展を考える会において取り組み状況等を関係者から意見を聞き改善に努めている。施設は経年劣化による雨漏り等があるが速やかに対処する。

問 親元を離れている寮生が生活する環境の中で相談などの対応は。

答 じんぶん館に、町職員の館長を配置し、寮生、親、島親、それぞれ細やかな対応を行っている。

問 留学制度により久米島高校の生徒数も横ばいの状況である。他の過疎地域の高校も離島留学制度に取り組む学校が増えている。離島留学制度の新たな取り組みは。

答 管理運営で現場の方の苦労が多く、身元引受人など町民を含めて負担を考えるとト

タル30名が限界である。

問 離島留学制度の評価は。

答 島外、島内の生徒が切磋琢磨し向上心が上がっている。すぐに効果は出ないが、この制度は将来的な投資、人材育成の投資である。



町営寮のじんぶん館

問 イベント及び行事は

答 通常開催に向け取り組み

問 10月の久米島マラソンからイベントの開催が続き交流人口も増え、島全体が活気づいたと感じる。経済効果も大きい。イベント開催の課題は。

答 コロナ対策を意識した取り組みや、スタッフ、ボランティアの確保が難しい状況。

問 スタッフやボランティアの協力でイベントが成り立っている。役場職員の負担軽減も含めて、イベントの外注などの検討は。

答 予算も含め検討が必要。

問 学校行事がコロナの影響によりイベント等、行事の中止や縮小となり、子供たちの成長に必要なリアルに見る、聞く、触れる事の経験の場が少なかった。子供たちの体験の場を作っていたきたい。

答 体験活動は大事である。通常開催に向け取り組む。

問 風の帰る森は
答 交流の場、保養事業等や交流施設として活用

問 現在の運営、活動の評価は。

答 寄附者の意向を尊重し島内外の子供たちの交流、保養を

重点的に行う目的であるが、児童保育が中心となっている。寄附者の理念も調整しながら今後の指定管理者と取り組む。

問 寄附者の理念も大事だが、コロナ禍で制限された中での現管理者の取り組みや活動を評価し、島に住む生活者に目を向けた行政サポートをしていただきたい。少しずつではあるが、経済や人も動き出している。風の帰る森は、これからがスタートである。森や施設の活用を町長はじめ担当課だけではなく全員で考えていただきたい。

答 現管理者の3年間の実績は大きい。活動など、町民に対してのPR不足は行政の責任でもある。

次期指定管理者と一緒に検討する。



「風の帰る森」施設外観



喜久里 猛 議員



問 道路の改修は

答 補助事業で検討



一般質問——町政のこころを問う



早めの改善が求められる阿里地区歩道

問 阿里地区歩道は改善補修に向け調整

答 現状を把握している。補助事業でできないか検討する。
問 小港橋入り口の砂州の浚渫が必要では。
答 重機の出入りが非常に厳しいが、河川改修と同時に行う。

問 千歳橋小港橋間は埋立地であることから、間知ブロックのずれや道路の陥没が見られる。多額の費用が見込まれると思うが。

問 自衛隊官舎からバイパス間の歩道は、雨が連続と湧水が1週間ぐらい続き、歩行者が滑っている。より安全な歩行ができるように、暗渠排水を含めた改修工事が必要では。
答 去る6月に苔等の洗浄作業を行い、改善に努めている。常時湧水があり滑りやすい箇所があるので、改善改修に向け調整が整い次第、工事を行う。



千歳橋付近の河川

問 釣果物の割当は関係機関と調整

問 久米島周辺の漁場は国内、国外から人気がある。しかし、漁民及び釣り客の釣果物の割当は県単位になっている。漁協単位に改正できないか。
答 沖縄県資源管理方針によつ



堆積した砂州

て、県内の漁獲枠が定められている。改正の可能性について沖縄県水産課に問い合わせたところ、県内の漁業団体等で捕獲枠配分の協議を行い、合意を要するとのことである。今後は、久米島漁協と連携し関係機関と調整を図っていく。



赤嶺 秀徳 議員

問 町管理の漁港整備は

答 今年度内で整備計画を策定



鳥島漁港



具志川漁港



儀間漁港

問 漁港整備計画は。

答 5年度からの整備計画は要望などの意見交換を行い、今年度内に策定する。

問 意見交換は何時頃か。

答 年明けを考えている。

問 町管理漁港は何港か。

答 儀間、鳥島、具志川漁港の3港である。

問 意見交換は各港ごとか

答 課題、漁港形態等が違つので各漁港ごと個別に意見交換を行う。その後、漁民の意見を反映させた長期計画を策定したい。

問 5年度予算は

答 町民に支障のないよう努める

問 本町の予算確保は十分か。

答 5年度予算は年明けに国会で審議予定があり、県関連予算の減額が本町に及ぼす影響が見通せない状況であるが町民に支障のないように努める。

問 減額された場合の対策は。

答 町民生活や町の計画等に影響があれば、県や国に強く要請する。

問 横領事案のその後の進展は

答 進展せず

問 所在の確認は。

答 現在まで所在の確認は取れていない。

問 確認されていない理由は。

答 所在確認を行っていないかった。

問 返済金の徴収は。

答 元年の預貯金差押え以降の回収はなし。

問 課長問の本件事務引継は。

答 関係書類を基に行った。

問 今後の事案解決策は。

答 顧問弁護士と今後の対応を相談、回収に取り組む。

問 特別教室への冷房設置は

答 整備が進めていくよう取り組む

問 小中学校の特別教室への冷房設置の可否は。

答 設備未設置場所の確認、容量調査まで終了、学校の要望に応じて随時進めていくよう取り組む。



喜久村 等 議員

問 サトウキビの支援事業は

答 三者協議の上で事業を推進



問 サトウキビ生産性向上緊急支援事業、地力増進対策及び肥料管理対策の事業内容について伺う。

答 本町のサトウキビの単収向上や増産を目的とした土づくりをはじめ、適期防除作業や肥培管理を支援するための事業である。

問 数人の生産農家の申し込みがあるにもかかわらず、取り残された原因は。

答 堆肥センターにおける夏の堆肥申込量が堆肥製造量を上回ったことで、サトウキビ生産農家以外で既に注文のあった農家を優先したため、一部のサトウキビ農家で供給ができず、沖縄本島内から堆肥を購入して納入するまでに時間がかかった。

問 鶏糞事業について伺う。

答 サトウキビ生産性向上緊急支援事業のひとつで、地力向上や肥培管理を支援するための事業。購入費用の3分の2補助を行っている。

問 本事業は根本的に見直す必要があると思うが。

答 次年度に向けてきちんと精査し、久米糖、JA、久米島町、三者協議の上で事業を推進していきたい。

問 本庄池整備事業は補助事業採択に向けて取り組む

問 今後の本庄池の使用計画について伺う。

答 給水施設の貯水池としての利用を考えている。具体的な



早期給水再開が求められている本庄池(字真謝)

利用形態については、受益者と意見交換を行い決定したい。

問 受益者との意見交換会についてはどのような形で行うのか。

答 具体的に採択年度が見えてきた時点で開催を予定している。開催場所など取り組み内容については今後検討する。

問 事業採択はいつ頃になるか。

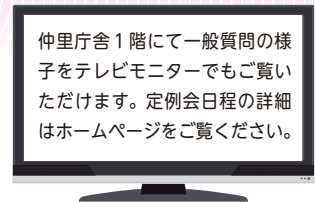
答 非常に大事な施設と認識している。早めに事業採択できるように取り組んで行く。

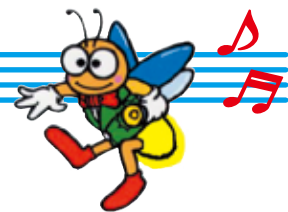
3月定例会議会の傍聴へ行こう!!

定例会は **3/6日(月)~13日(月)・28日(火)**
開会予定

※感染症予防の対策を行いながらの傍聴となり、傍聴人数の制限があります。

仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでもご覧いただけます。定例会日程の詳細はホームページをご覧ください。





■ 総務・文教・民生委員会

総務・文教・民生委員会では昨年8月に行った所轄事務調査の第2弾として、1月12日(木)に久米島小学校、大岳小学校、比屋定小学校、球美中学校の4校を現場視察した。校舎のひび割れや雨漏り等補修箇所等について各学校・教育委員会担当者から説明を受けた。



久米島小学校



大岳小学校



比屋定小学校



球美中学校





ねえ
教えて!

議会って…

定例会・臨時会以外では何しているの？

■ 建設経済委員会

12月定例会で付託された陳情について、審査・審議しました。
付託された「陳情第14号 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書」については、「コロナ被害と異常な物価高が続く中でのインボイス導入は、零細業者を倒産・廃業に追い込み、地域経済を一層疲弊させるものである」との趣旨に賛同できるものであるとの見解で一致し、採決の結果、全委員一致で「採択」と決定しました。採択結果の措置として、内閣総理大臣、財務大臣へ意見書を提出しました。また、委員会ではその他に県内行政視察について話し合い、国頭村と金武町にある「ごみ処理施設」を視察することとしました。視察内容等については、次号以降でお知らせいたします。

○「陳情第14号 インボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施延期を求める陳情書」
結果 ⇒ 採択



報告をする喜久里委員長

■ 広報特別委員会

議会活動を議会だよりなどで町民の皆さまにお知らせします。
議会だよりの編集や発行を行います。

＝主な活動として＝（令和4年11月～令和5年1月）

- ・令和4年11月8・14日 広報委員会開催（議会だより82号校正作業）
- ・令和4年11月16日 議会広報研修会へ参加
- ・令和4年12月1日 議会だより82号発行
- ・令和5年1月4日 子ども議会特別号発行

11月16日に開催された町村議会議長会主催の議会広報研修会では、「持続可能な議会広報へ」と題して、議会広報ファシリテーターの越地氏による講話があり、全国町村議会広報コンクールの事例詳解や沖縄県内各市町村議会広報等の概観報告があり、新しいかたちの議会広報、住民に伝わる広報のあり方を学ぶことができた。



広報研修会の様子

追跡

あの一般質問はどうなった？



令和3年3月から令和3年12月定例会

の一般質問、その後の対応

喜久村等議員

(令和3年9月定例会)

質問

北真謝原防風林、防潮林の植栽工事の延長と本町全域についての植栽の今後の計画は。また、南部林業事務所との対応はどのように行われたか。

対策

北真謝原地区の今後の計画については、引き続き南部林業事務所と調整を行っていく。本町の防風林、防潮林の植栽計画については周辺状況や優先順位を検討し整備に取り組む。

盛本實議員

(令和3年12月定例会)

質問

今後において、本町の産業振興の面から高速船導入に対する意見を伺う。

対策

航路改善計画の報告書をもとに検討した結果、ジェットfoilは維持

管理費が高額で、事業としての採算が見込めないことから、

導入は厳しい状況である。今後は、高速船だけではなく、航空機材の大型化や路線拡充も含め、幅広く検討していく。

富永肇議員

(令和3年3月定例会)

質問

学校教育の充実G I G Aスクール構想は。

対策

令和3年3月校内学習者用Wi-Fiネットワーク環境整備完了。

令和3年12月児童一人1台、

教師用端末整備及び教師向け使用研修会の完了。令和4年5月インターネット環境整備完了。令和4年7月教材アプリ導入と教職員研修会完了。令和4年10月久米島町ICT活用計画、ガイドラインの策定完了予定。

赤嶺秀徳議員

(令和3年3月定例会)

質問

ひとり親世帯について、本町におけるひとり親世帯の実態把握とコロナ禍における支援策等は適切に行われているか、また今後の取り組みは。

対策

本町においては、ひとり親世帯だけではなく、すべての子育て世帯に対しての支援が必要。コロナ禍における支援策は、昨年度に引き続きひとり親世帯臨時特別給付金を実施。児童生徒一人につき5万円を支給している。

宇江原総清議員

(令和3年3月定例会)

質問

久米島町は渡名喜、粟国を含めた国立公園構想であれば、環境省も前向きな姿勢。同構想は生物の多様性を含む自然再生が重要だ。

現在は三面コンクリートの河川、海浜護岸が造成。その事

によって磯焼けを起こし、モズク等の海藻が減少している実態をどうとらえるのか。

対策

本件構想は、環境省と意見交換し、その要望を環境省へ伝えているところ。県と本町が連携を取り進めて行きたい。

棚原哲也議員

(令和3年9月定例会)

質問

クリーンセンターについて、更新時期が迫っているが、更新予定年度、建設場所は。

対策

令和8年度からの使用開始に向けて計画を進めている。建設場所は、現在の施設周辺の町有地を活用する。



建設計画が進められている旧火葬場跡地

喜久里 猛議員

(令和3年12月定例会)

質問 松くい虫の被害が確認されたが、今後町と県、国はどんな対策を考えているか。

対策 県の補助事業を導入し伐倒駆除や薬剤による防除作業を実施した。今後も引き続き国、県との連携を図り、調査及び防除戦略のもと「根絶」に向け継続的な対策を考えている。

真栄平 建正議員

(令和3年12月定例会)

質問 良質堆肥、土づくりで農家所得増を。

①堆肥センターの生産管理が不十分。適正な管理のもとに品質向上がある。生産管理表からは良質堆肥か疑問。
②土づくり講演会の感想は。
③土づくりに必要な資源が島内にある。町が事業導入の推進し、実証試験を。

対策

①改善に取り組む。
②「土が変わればキビ

も変わる」・「北大東の事例を導入し反収増を」内容で参考になった。
③次年度実証試験に取り組む。

東江浩明議員

(令和3年6月定例会)

質問 再生可能エネルギー活用事業の現状と取り組みは。

対策 久米島町公共施設再生可能エネルギー利用促進制度を制定し、公共施設の屋根等を民間事業者へ提供し太陽光発電設備や蓄電池など設置・運用してサービスの提供を行う仕組みを構築し、太陽光発電設備等に関しては、民間活力を推進。公用車のEV導入も検討していく。

翁長 学議員

(令和3年3月定例会)

質問 農道の整備について、農地周辺に牛舎等があり、整備されていない農道があるが、飼養管理の観点から整備できないか。

対策

牛舎の往来に支障がある場合、事業採択の要件に合致するかどうか確認し、計画策定を行っていききたい。

幸地 猛議員

(令和3年6月定例会)

質問 町の過疎自立促進計画の成果とその評価について、ソフト事業、ハード事業の残された課題について。

対策 計画期間内に実施するソフト事業、ハード事業について年度別事業計画を作成し、山積する課題を一つひとつ解消するとともに、本町の巨大プロジェクトとして、海洋深層水施設の取水量拡大に向けて取り組んでいく。そして、地域活性化を生かした地域づくりを展開しながら基本的に農業や漁業の1次産業を基軸に商工、観光及び地場産業等の進行を図っていく。

新垣 幸子議員

(令和3年3月定例会)

質問 認定こども園整備計画の進捗状況は。

対策 認定こども園については令和7年度供用開始として進めている。整備計画に基づき、仲里幼稚園と中央保育所を統合する方向で進め

ている。今年度(令和4年度)は、実施計画における施設規模の再検討を行う。令和5年度実施設計業務委託、令和6年度建築工事を予定している。作業進捗の中で、適宜、町子ども子育て会議や保護者への説明を行う予定。



良質な堆肥作りに取り組む堆肥センター

■令和4年11月 ■■■■■■

- 2日・子ども議会本会議
 - ・世界のウチナーンチュ大会久米島関係交流会に議長出席
- 8日・広報委員会
 - ・町村議会議長全国大会に議長出席
- 9日・離島振興市町村全国大会に議長出席
- 10日・南部地区議会議長研修会に議長出席
- 11日・全国町村議会シンポジウムに議長出席
- 16日・町村議会広報研修会に広報委員出席
- 21日・第9回臨時会
- 25日・南部離島町村長議長連絡協議会(役員会・臨時会)議長出席
- 28日・常任委員長副委員長実務研修会に正副委員長出席

■令和4年12月 ■■■■■■

- 2日・久米島町町制20周年記念式典、祝賀会
 - ・太田昌秀先生銅像・記念碑除幕式典へ議長出席
- 3日・久米島分屯基地開庁50周年記念行事に議長出席
- 5日・議会運営委員会

12日～15日

- ・12月定例会
- 15日・全員協議会
- 22日・離島医療組合議会(喜久村議員・棚原議員・真栄平議員)出席

■令和5年1月 ■■■■■■

- 5日・久米島町新年会
- 6日・久米島町消防出初式に議長出席
- 8日・二十歳の集い式典に議長出席
- 11日・南部離島町村長議長連絡協議会役員会、行政懇談会に議長出席
- 13日・後期高齢者医療広域連合全員協議会へ赤嶺議員出席
- 17日・参議院議員ODA沖縄北方特別委員会意見交換会へ議長出席
- 18日・家畜セリ市場初セリセレモニーに議長出席
- 25日・議員全員協議会
- 26日・南部離島町村長連絡協議会離島行政視察研修、定例会に議長出席
- 28日・第28回久米島町新春書道展へ議長出席
- 30日・町村議会副議長研修会に副議長出席
- 31日・新人議員研修会に新人議員出席

叙勲(旭日単光章)おめでとうございます

旧仲里村議会議員および久米島町議会議員を17年余務められた、吉永安扶氏(字真我里)が叙勲(旭日単光章)を受章されました。受章にあたり12月21日、沖縄県庁において伝達式が開催され、照屋義実副知事から「勲記・勲章」が授与されました。

吉永安扶氏は、議会活動の他にも農業委員会会長や字老人会長等を歴任され、幅広くご活躍されてきました。

また、旧仲里村議会議員および久米島商工会会長を歴任された故湖城嘉吉氏(字真我里)も叙勲(旭日単光章)を受章されました。両氏の叙勲(旭日単光章)受章を心よりご祝福いたします。



伝達式に出席された安扶氏と息子の安克さん

編集後記

12月定例会で診療所関係の予算案を議会で否決。町執行部の詰めの日々と、本件は二元代表制が顕著になった事例。又、真謝の区民の方から提案された避難道路法面を、議員が視察。町長に意見提出して実現を見た。時程左様に議員は町長同様、町民から選出された代表である。私たち議員は町民の声を聞き、町民の代表との自覚の上、町行政に反映していきたい。町民自らの意見を期待する。

(宇江原 総清)

広報委員

棚原 哲也
赤嶺 秀徳
宇江原 総清
真栄平 建正
富永 肇